

(第6条関係)

事業計画書

事業名	公共サインの改善で松戸市の街並みをレベルアップする事業
団体名	都市環境デザイン学研究室 公共サイン研究会

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>■地域のアイデンティティを創る・高める公共サイン</p> <p>松戸市街では公共サインを含め各種案内表示が乱立しており、景観の阻害や案内表示の分かり難さという問題を抱えていることから、公共サインを改善することの必要性は高い。公共サインの改善については、特に景観の観点からその必要性が問われてきたが、近年ではまちのアイデンティティ創出が各地の自治体で課題となっている背景から、単なる視認性向上や多言語対応等にとどまらず、統一したイメージカラーや字体、独自のデザインによるピクトグラム等を設定することで地域性を表現する事例もみられる。しかし松戸市はエリアにより様々な特徴を有しており、単一のイメージで語ることは難しいのではないかと。「松戸らしさとは何か？」と問われたとき、すぐに答えられる市民がどれだけいるだろうか。私たちは、松戸市が古くから宿場町として栄え、現在はベッドタウンとしてビジネスマンや学生、外国人等の多様な人々が特に不自由なく暮らすことができ、一見特徴のないように感じるからこそ、松戸の魅力である「住みやすさ」をあらわしているのではないかと考えた。今後の松戸の公共サインを考えることは、「住みやすさ」という魅力を更に高めることであると捉える。松戸市の公共サインを改善することは、単に「きれいに整える」ということを目指すのではなく、市民が松戸のアイデンティティとして認識するようなアイコンとなり、市の外へ松戸の魅力をアピールするツールとなり得るような、公共サインを通した「松戸のジャンプアップ」を目指すものである。</p> <p>かつての宿場町や今のベッドタウンという特色は、松戸の立地や地形、住む人々、文化、まちの様子を表すものだとはいえるのではないかと</p> <p>公共サイン研究会では</p> <p>公共サインを「今よりもっと住みやすい松戸」を実現するためのもの、として捉える</p> <p>多くの人にとって「ふつう」であることは「住みやすい」ことであると積極的に捉え、そこから松戸らしさを考える、アピールできることを考えるきっかけにできるのではないかと</p>
事業の目的	<ol style="list-style-type: none">1. 公共サインを通して市民と共に「今よりもっと住みやすい松戸」を考える2. 2020年東京オリンピックを視野に入れ、市民だけでなく多様な来訪者を想定した視点による公共サインを検討し、分かりやすく視認性に優れ、松戸市の街全体のイメージアップにつながるサインデザインガイドの検討

<p>事業内容</p>	<p>1 事業内容</p> <p>H28年度の活動では、公共サインの種類や役割、歴史、既往研究等について幅広く情報収集を行った。その内容を踏まえ、H29年度は「今よりもっと住みやすい松戸」を考える切り口として、ケーススタディを通して以下のテーマ①～③について研究を進め、次年度以降に公共サインデザインガイド策定に向けた提言を行うことを目標として研究で得られた内容を報告書としてまとめる。</p> <p>■ケーススタディ；松戸市のサインシステムの検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在設置されている公共サインを使い、実際に施設まで適切な案内・誘導が図れているのか、3つ程度のケーススタディを行い、検証する。また、松戸市内の公共施設においてケーススタディ報告会を実施し、結果を市民に広く公開する。 ・候補；(1)松戸駅から徒歩で市役所へ向かう場合、(2)松戸駅から徒歩で戸定邸へ向かう場合、(3)松戸駅からバスを利用して21世紀の森と広場に向かう場合、等 <p>テーマ①ユニバーサルデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に市内の障害者団体や留学生等外国人へのヒアリングを行い、現在の松戸市の公共サインに関する意見や改善が必要な点等について把握する ・ケーススタディに同行してもらい、現場で具体的な意見と実態を知る <p>テーマ②景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サインの大きさや色彩について実態を把握し、ケーススタディのルート上の地域の景観と合わせて分析する <p>テーマ③アイデンティティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サインの設置されている場所、色彩や字体等のデザイン、設置時期や担当部局等について把握し、現状のサインにおいてにじみ出るアイデンティティを探る <p>■松戸市公共サインデザインガイド策定に向けた報告書作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディの内容を踏まえ松戸市の公共サインに求められる条件を整理する <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="395 1182 1422 1630"> <thead> <tr> <th></th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>ケーススタディのルート検討</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>障害者団体、市内在住外国人へヒアリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>ケーススタディのルート作成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7～9月</td> <td>ケーススタディ実施</td> <td>松戸市内</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>ケーススタディ報告書作成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>ケーススタディ報告会実施</td> <td>松戸駅周辺公共施設</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>事業活動記録作成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>事業活動記録配架（市内公共施設に配架し、市民が自由に閲覧できるようにする）</td> <td>松戸市内公共施設</td> </tr> </tbody> </table>		具体的な取り組み	実施体制、対象、場所	4月	ケーススタディのルート検討		5月	障害者団体、市内在住外国人へヒアリング		6月	ケーススタディのルート作成		7～9月	ケーススタディ実施	松戸市内	10月	ケーススタディ報告書作成		11月	ケーススタディ報告会実施	松戸駅周辺公共施設	12月	事業活動記録作成		2月	事業活動記録配架（市内公共施設に配架し、市民が自由に閲覧できるようにする）	松戸市内公共施設
	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所																										
4月	ケーススタディのルート検討																											
5月	障害者団体、市内在住外国人へヒアリング																											
6月	ケーススタディのルート作成																											
7～9月	ケーススタディ実施	松戸市内																										
10月	ケーススタディ報告書作成																											
11月	ケーススタディ報告会実施	松戸駅周辺公共施設																										
12月	事業活動記録作成																											
2月	事業活動記録配架（市内公共施設に配架し、市民が自由に閲覧できるようにする）	松戸市内公共施設																										
<p>事業の目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究会のメンバー以外のケーススタディ参加者5名以上 2. ケーススタディを3パターン以上実施 3. ケーススタディ報告会への参加者40名以上（うち一般市民20名以上） 4. 活動記録概要版を市内公共施設40箇所へ配架 																											
<p>既存の事業からステップアップする部分</p>																												
<p>今後の展望</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. サインデザインガイドの実効性向上を目指し、情報収集・調査を継続する 2. 民間とも連携し街全体のバージョンアップを目指した活動を継続する 3. 松戸市の都市計画課等との連携を視野に入れ、ランドスケープを学ぶ者としての視点と一市民としての視点の双方を生かした活動を継続する 																											

事業の予算概要

【収 入】

(単位：円)

科 目		金 額	積算内訳
団 体	団体拠出金	¥ 24,600	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	会費	¥ 4,500	500円*9人
	自己資金の合計額 (A)	¥ 29,100	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A + B)		¥ 129,100	

【支 出】

科 目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 20,000	ケーススタディ同行者謝礼
	消耗品費	¥ 77,250	プリンタ用トナーカートリッジ
		¥ 1,000	封筒、ペン、クリップ等
		¥ 1,500	事務用紙 A4 普通紙500枚入り*5冊*1箱
		¥ 0	活動記録用紙160枚(4ページ*40部) 上記に含む
		¥ 10,000	活動内容に関する書籍
	保険	¥ 3,000	行事保険(ケーススタディ参加者等) 100円*10人*3回
	使用料	¥ 1,350	ケーススタディ報告会 松戸市内公共施設の会議室 5時間程度使用を想定
	対象経費の合計 (D)	¥ 114,100	
その他経費	食糧費	¥ 15,000	ケーススタディの昼食代 500円*10人*3回
	その他経費の合計 (E)	¥ 15,000	
合計額 (F) = (D + E)		¥ 129,100	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。